

氏 名 原 克典
学位の種類 博士(医学)
学位記番号 甲第485号
学位授与年月日 平成30年3月6日
審査委員 主査 教授 田邊 一明
副査 教授 吉山 裕規
副査 臨床教授 松井 寛

論文審査の結果の要旨

弾性線維の産生に関与するlysyl oxidase-like 1 (LOXL1)遺伝子に存在する3つの一塩基多型 (SNP) が落屑症候群と強い相関を認めることが報告されている。一方、以前から落屑症候群の患者では、網膜静脈閉塞症を合併することが示唆されてきた。LOXL1のSNPが網膜静脈閉塞症に関与するかを検証した報告はなく、今回申請者は、網膜静脈分枝閉塞症 (BRVO) の患者を対象にして検証を行った。連続した78名のBRVO患者を集め、落屑症候群のない白内障患者群 (158名) とLOXL1のSNPのアレル・ジェノタイプ頻度を比較した。患者の末梢血白血球からゲノムDNAを抽出し、PCRで対象部分を増幅後、遺伝子配列の解析を行った。結果は、BRVO患者78名中11名に落屑物質の沈着が認められたが、LOXL1のSNPとBRVOとの間に直接の関連性を認めなかった。この研究から得られた新しい知見は、日本人の落屑症候群患者のBRVO発症はLOXL1のSNPが関与するものではなく、落屑物質沈着進行が寄与していると推測される事である。本研究においては、落屑症候群の患者では、BRVO発症を予防するために、眼圧や動脈硬化など血管変化を引き起こす危険因子に注意を払うことがより重要であることを示した。